

「管路更生大学」公開デモ施工見学報告

非開削技術編集室

11月2日（火）、日本大学生産工学部津田沼キャンパス 39号館北側広場にて「管路更生大学」のデモ施工が開催され、マネジメントコースの学生20名、都市環境コースの学生43名、自治体のみなさん約20名の方が参加されました。

この「管路更生大学」は、社会のニーズに合った下水道技術者の育成を目的として、日本大学生産工学部土木工学科が、東京都下水道サービス(株)と(一社)日本管路更生工法品質確保協会に呼びかけ、3者間で協力協定を結び開催している講義となります。管路更生工法の基礎知識を学ぶ3回の座学とデモ施工から成っており、2017年度から始まって今回で5回目の開催となりました。

2019年度までは対面で講義を実施してきましたが、2020年度はコロナ禍のためオンライン方式での開催となりました。今年度は同大学の講義の一部で対面授業が再開したものの、3回の座学はオンライン方式での開催となり、本デモ施工のみ対面で実施となりました。

「管路更生大学」は、同大学の地域貢献活動の一環としてデモ施工見学を自治体にも門戸を開いており、本学の学生や教員の方々のほか、千葉市や市川市、習志野市の職員の方々が参加しました。

土木工学科の森田弘昭教授より「管路更生大学、そして水環境浄化システムの授業は今回のデモが最終回となります。授業の中に出てきた、実際の管きよの工

法の実演を2種類、見ていただくこととなります」という説明があったあと、2グループずつに分かれて、それぞれの工法の見学を順番に行いました。

デモ施工は、3SICP技術協会とオールライナー協会が実施しました。

3SICP技術協会のデモでは、大口径の製管工法の「3Sセグメント工法」のセグメント組み立て作業を行いました。デモを見学した学生は、透明で軽量なプラスチックセグメントに興味深そうに触っていました。

オールライナー工法協会のデモでは、小口径の形成工法の「オールライナー工法」による更生材の引き込み、拡張までの工程を行いました。今回のデモでは塗料を用いた色付けもされており、分かりやすい説明がなされていました。



3Sセグメント工法見学の様子



挨拶をする森田教授



オールライナー工法見学の様子